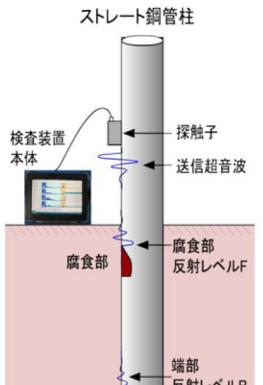


超音波で健全性評価

◆ 診断概念図



概念図 標識・照明柱(コンクリート基礎)



スパーク(石川県内灘町、塚本輝樹社長)はこのほど、道路附属物(標識、照明施設等)の点検などに対応するため、北陸3県で初めて超音波式診断装置「コロージョン診断システム(NET)」を導入した。

I(S)にも登録された。今後は道路管理者などへ提案していく方針だ。コロージョンドクターは、道路の信号や標識、照明灯、防護柵など鋼管柱の路面境界部における腐食損傷度合いを非破壊方式で簡易かつ定性的に検出できる。作業時間は1本当たり15分程度。従来は近接目視と試掘、残存板厚調査、復旧の手順で検査を行っていたが、新装置では独自に開発した超音波(SH波)の振動子と解析ソフトを利用し、根元を開削せずに健全性を評価できることが可能だ。

測定方法は支柱下部にセンサーを貼り付け、超音波を照射する。対象から反射してきた波形を分析し、「健全/ほぼ健全/腐食あり」の3区分で簡易判定を行う。センサ

腐食による倒壊が社会問題化

北陸初 道路の支柱に提案へ

スパーク(石川・内灘)

(一社)弾性波診断技術協会
関東・北陸支部 会員

SPARK

株式会社スパーク

代表取締役 塚本 輝樹

〒920-0268 石川県内灘町ハマナス1丁目37番地
TEL(076)286-6229 FAX(076)255-6529
URL <http://spark-w2r.com>

ーを钢管の円周上で90度示される。測定値を道路ずつ回転させて4回測定する。さらに試掘の必要がある際は「×」、不要標識管理システム(オプション)に蓄積すれば、時系列に沿った一元的ななら「○」が画面上に表示データ管理が可能だ。

道路附属物である钢管柱は、全国で照明が約350万基、標識(門型を除く)が約220万本あるという。老朽化が懸念されるほか、近年は地際

一部の腐食劣化による倒壊事故も増加するなど、健全の確保が急務の課題となっている。問い合わせは同社(電話076-286-6229)へ。